



会社説明資料

2025年3月7日

株式会社 ミマキエンジニアリング

常務取締役 清水 浩司

本資料でお伝えしたいこと

- ❖ 会社概要
- ❖ 3つの市場とシェア
- ❖ 推し活/グッズ制作のIP市場
- ❖ サステナビリティのTA市場
- ❖ まとめと市場の成長性
- ❖ 株主還元

“水と空気”以外に印刷する

世界的な産業用プリンタメーカー

本体・インク・ソフトウェア・保守サービスまで一貫して提供

数字で見るミマキ

※2024年12月末現在

売上高



756億円

営業利益率



7.2%

海外売上高比率



73.2%

従業員数(連結)



2,104名

研究開発費率



7.2%

グループ会社数



29社



設立	1975年8月	資本金	4,357百万円
本社	長野県東御市滋野乙2182-3		
代表者	代表取締役社長 池田 和明		
株主数	5,110名 ※2024年9月末現在		
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 / 証券コード 6638		
発行済株式総数	32,040,000株 (単元株=100株) ※2024年9月末現在		

ミマキエンジニアリングは

- ◆ 屋内外の看板や、グッズ・ノベルティ、衣料品など
- ◆ 水と空気以外の様々な素材へ印刷するための
- ◆ 産業用大判インクジェットプリンタを
- ◆ 長野県から全世界150カ国以上に向け提供

する企業です

……だけど、プリンタって聞くとなんとなく

「デジタルコンテンツの増加で紙への印刷は減少？」

「紙の使用は環境負荷も高いしマイナスイメージ…」

「インクで儲けるビジネスモデルでしょ！？」

当社はちょっと違います



SG市場

Sign Graphics

SG

サイン グラフィックス

Sign Graphics

大型ポスター、カーラッピング、のぼり旗、表示板といった広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・塩ビシート
- ・バナーシート
- ・ウィンドウフィルムなど



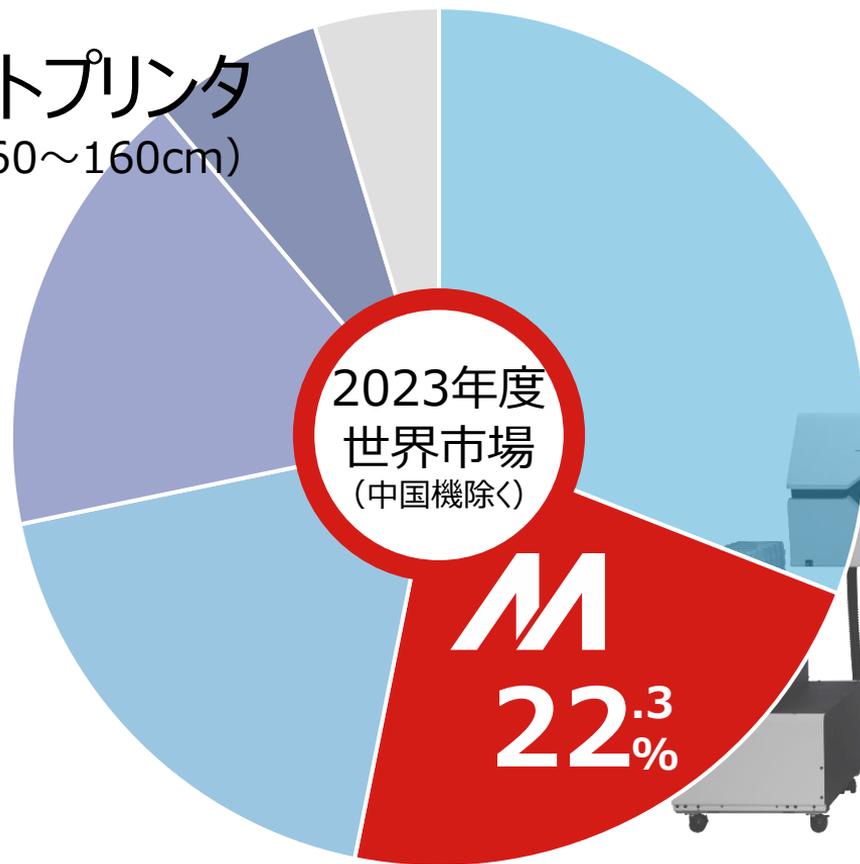


3つの市場とシェア > SG市場での当社シェア

サイングラフィックス市場向け

大判インクジェットプリンタ

24~64インチ (60~160cm)



2023年度
世界市場
(中国機除く)

M
22.3%

※調査会社データに基づく当社推定



IP

インダストリアル プロダクツ

Industrial Products

自動車の計器パネルや家電類の操作パネル等の工業製品のほか、一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダーグッズ等の生産現場等で使用されている製品群。

活用事例

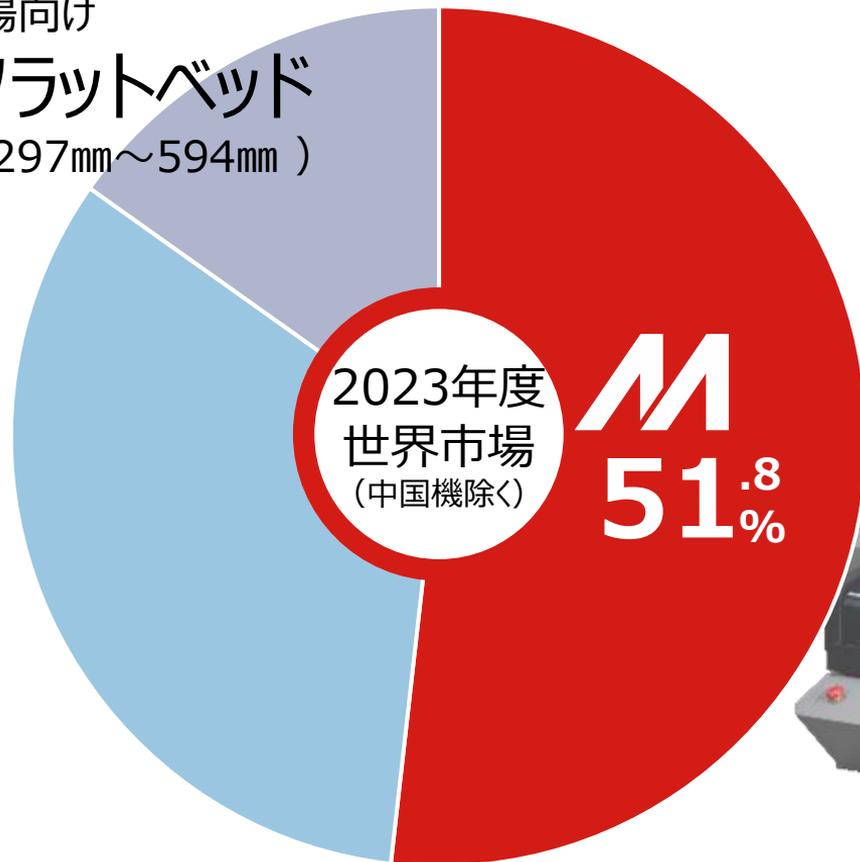


主なプリント素材

- ・プラスチック
- ・アクリル
- ・ガラス
- ・金属
- ・木材など



インダストリアルプロダクツ市場向け
デスクトップUVフラットベッド
A3~A2 (420mm x 297mm~594mm)



- ◆ 様々なメーカーを支える印刷技術 = UVプリント
- ◆ 押し活などのキャラクターグッズ制作で顧客/用途拡大
- ◆ オリジナルグッズやパーソナライズも需要が広がる





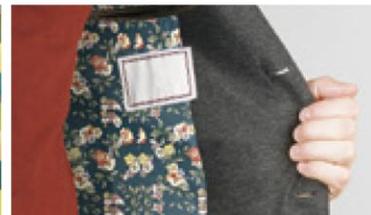
TA市場
Textile & Apparel

TA

テキスタイル・ アパレル

Textile & Apparel

裁断・縫製加工前の生地
や既製服などファスト
ファッション・スポーツ
ウェア業界のほか、ファ
ニチャー業界で拡大して
いる製品群。

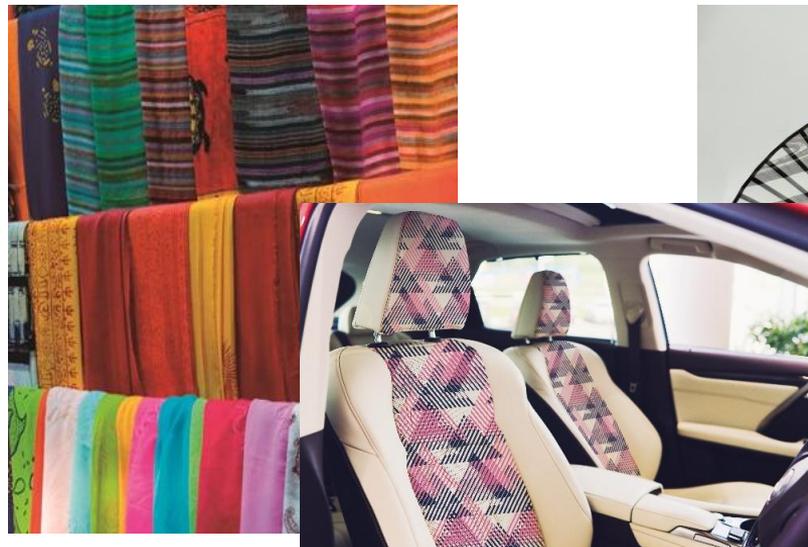


主なプリント素材

- ・ポリエステル
- ・レーヨン
- ・綿
- ・絹
- ・合成皮革など



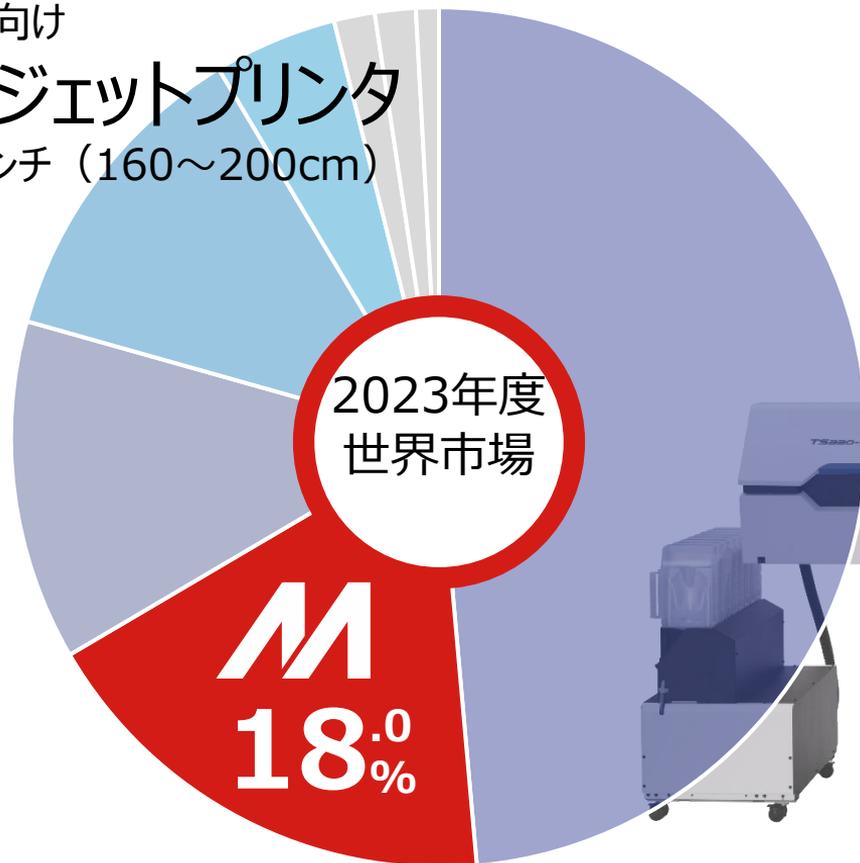
3つの市場とシェア > TA市場 (Textile & Apparel/布地・衣料品)



テキスタイル&アパレル市場向け

昇華転写インクジェットプリンタ

64~78インチ (160~200cm)



2023年度
世界市場

M
18.0%



本日配布のサンプル(エコバッグ)も当社製品で印刷されています

- ◆ 有名ブランドのスカーフやオリジナルシューズなどの事例
- ◆ 有名ファストファッションのビジネスを支える
- ◆ ファッション業界の廃棄規制(EU) → 当社技術で解決



テキスタイル生産は 環境負荷が大きい産業構造

- アナログによる生産が90%以上
- 全世界生産量の73%が廃棄・焼却※
- リサイクル率は12%※
- リユース率は3%以下※



従来の問題点を デジタル捺染で解決

- ✓ デジタル化は10%未満 (=成長性)
- ✓ 循環・再利用をデジタルで実現
- ✓ 大量生産から適量生産に



サステナビリティのTA市場：ネオクロマトプロセス（生地脱色&再利用）



ネオクロマト・プロセス Neochromato Process

- 染色されたポリエステル生地の**完全脱色**
- 再生利用ではなく**アップサイクル**を実現
- **CO2排出量を95%削減**し工業排水も限りなくゼロに
⇒ サステナブルなテキスタイル産業を実現



再印刷したタペストリー（池袋ロフト）



ミマキエンジニアリングは

- ◆ 屋内外の看板や、グッズ・ノベルティ、衣料品など
- ◆ 水と空気以外の様々な素材へ印刷するための
- ◆ 産業用大判インクジェットプリンタを
- ◆ 長野県から全世界150カ国以上に向け提供

する企業です

「デジタルコンテンツの増加で紙への印刷は減少？」

→ 紙以外の印刷はまだまだ成長していきます！

「紙の使用は環境負荷も高いしマイナスイメージ…」

→ デジタルプリントは環境負荷が低くサステナブル！

「インクで儲けるビジネスモデルでしょ！？」

→ 本体/インク/保守の全てで利益が出せる事業！

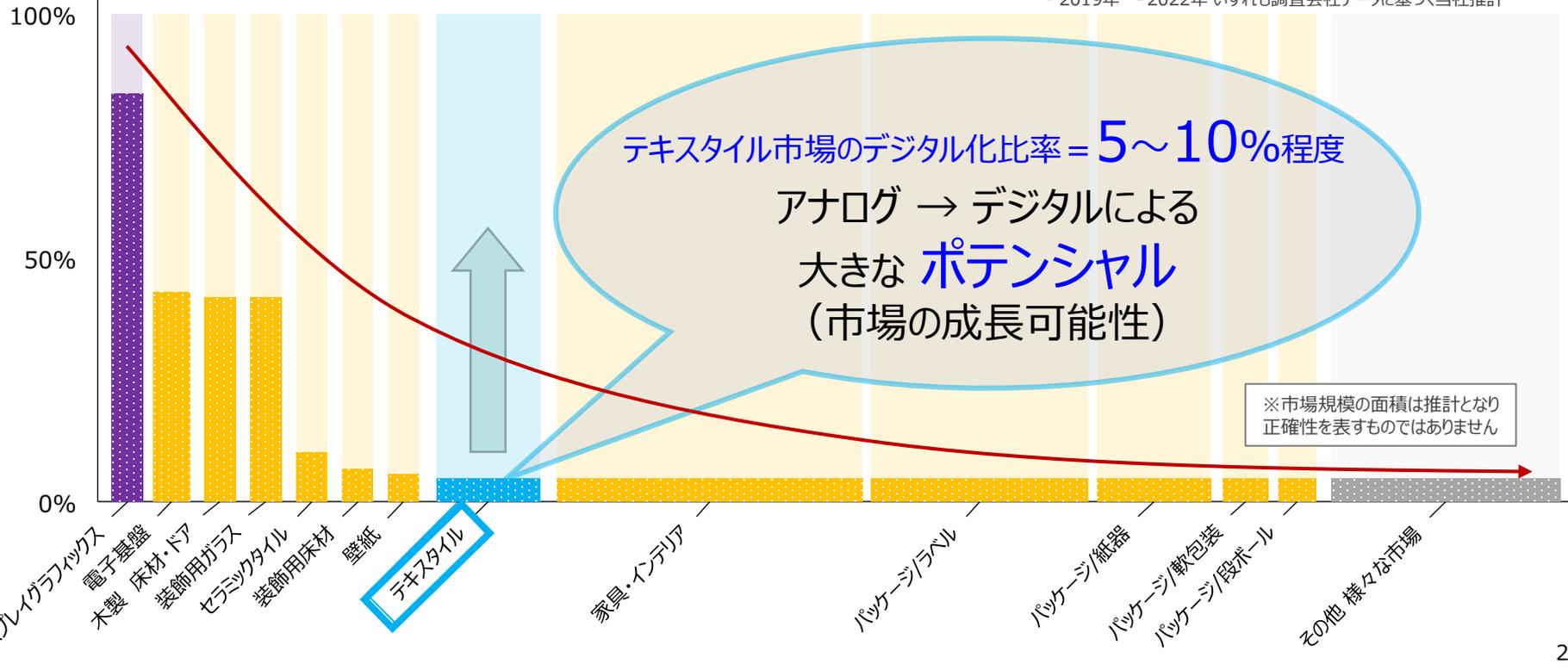
まとめと市場の成長性 > IP/TA市場の成長ポテンシャル

マーケットサイズと
デジタル化*1

産業印刷のデジタル化は途上
(デジタル印刷世界市場:3.8兆円*2)

デジタル化の進展により
大幅な市場成長の可能性

*1 2019年 *2 2022年 いずれも調査会社データに基づく当社推計



テキスタイル市場のデジタル化比率 = 5~10%程度
アナログ → デジタルによる
大きな **ポテンシャル**
(市場の成長可能性)

※市場規模の面積は推計となり
正確性を表すものではありません

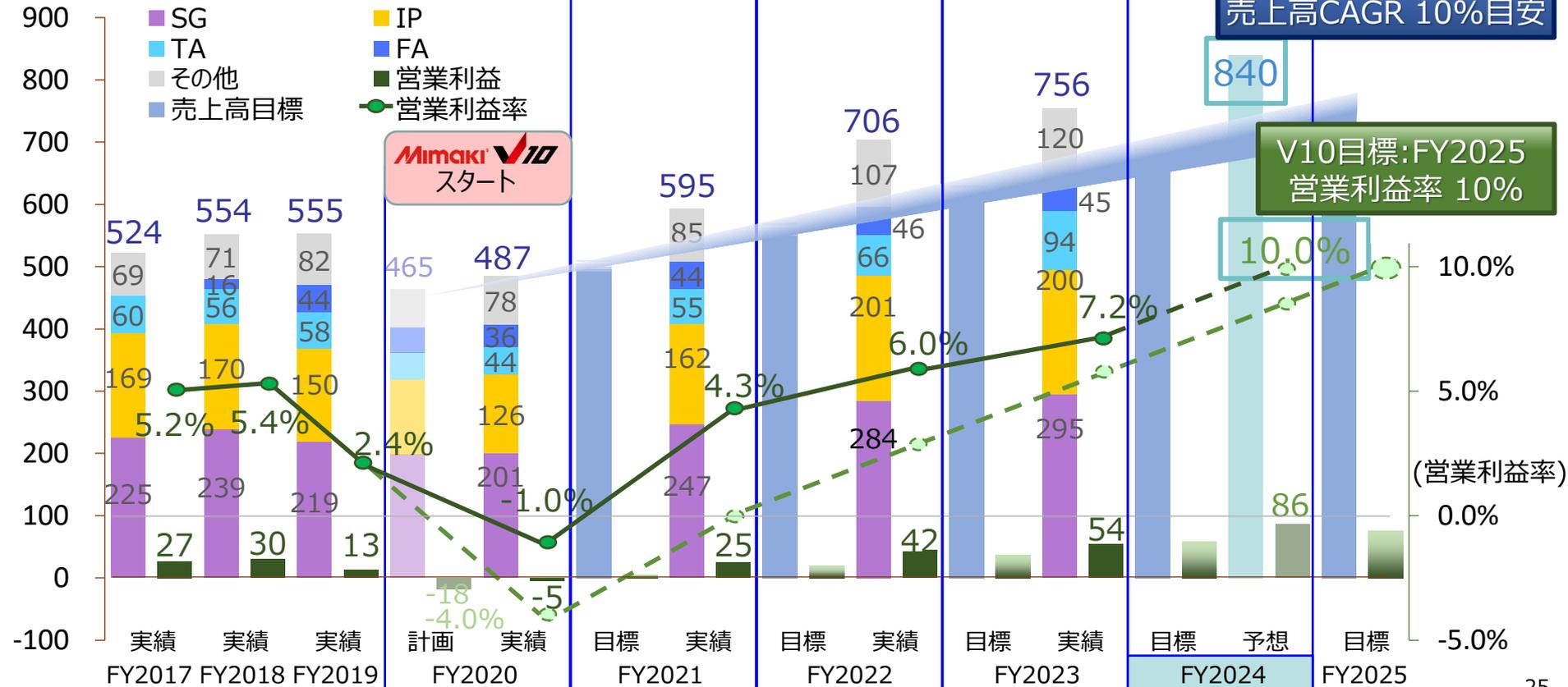
まとめと市場の成長性 > 中長期ビジョンを1年前倒し達成見込み



V10目標: FY2020-25
売上高CAGR 10%目安

V10目標: FY2025
営業利益率 10%

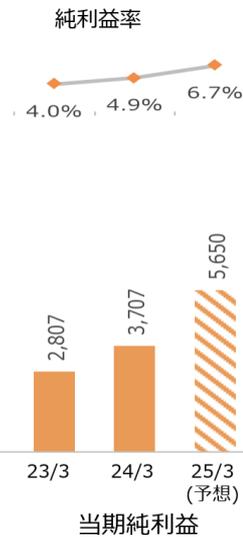
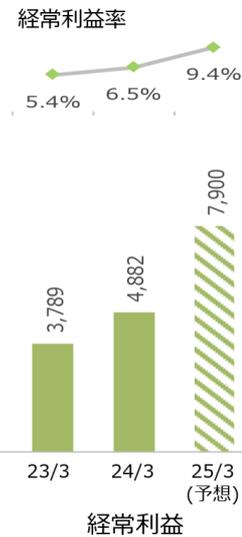
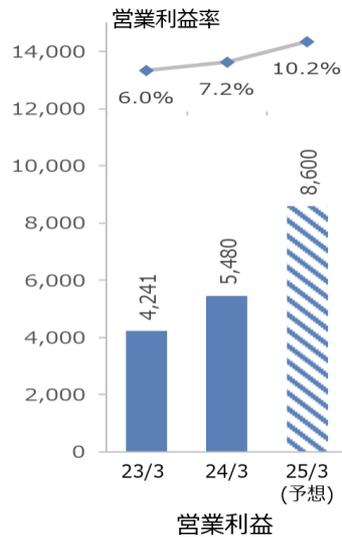
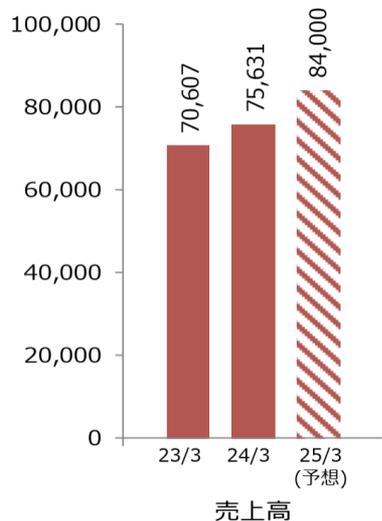
(単位: 億円)



まとめと市場の成長性 > 連結業績予想ハイライト (2025年3月期)



(単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月期						
	通期実績	売上高 比率	通期予想	売上高 比率	前期比増減			前回予想比 増減額	
					金額	率	率(除為替)		
■ 売上高	75,631	-	84,000	-	+8,368	+11.1%	+8.7%	+1,500	
■ 営業利益	5,480	7.2%	8,600	10.2%	+3,119	+56.9%	-	+350	
■ 経常利益	4,882	6.5%	7,900	9.4%	+3,017	+61.8%	-	+400	
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	3,707	4.9%	5,650	6.7%	+1,942	+52.4%	-	+50	
為替レート	米ドル	144.62円	-	151.17円	-	+6.55円	+4.5%	-	+5.86円
(期中平均)	ユーロ	156.79円	-	162.61円	-	+5.82円	+3.7%	-	+4.65円



当社と市場の成長性 > 弊社株価推移

【 当社の資本収益性* 】

PBR	1.33 倍
PER	7.48 倍
ROE	15.07 %

*2025/2月末時点 株価 1,465円 より算出



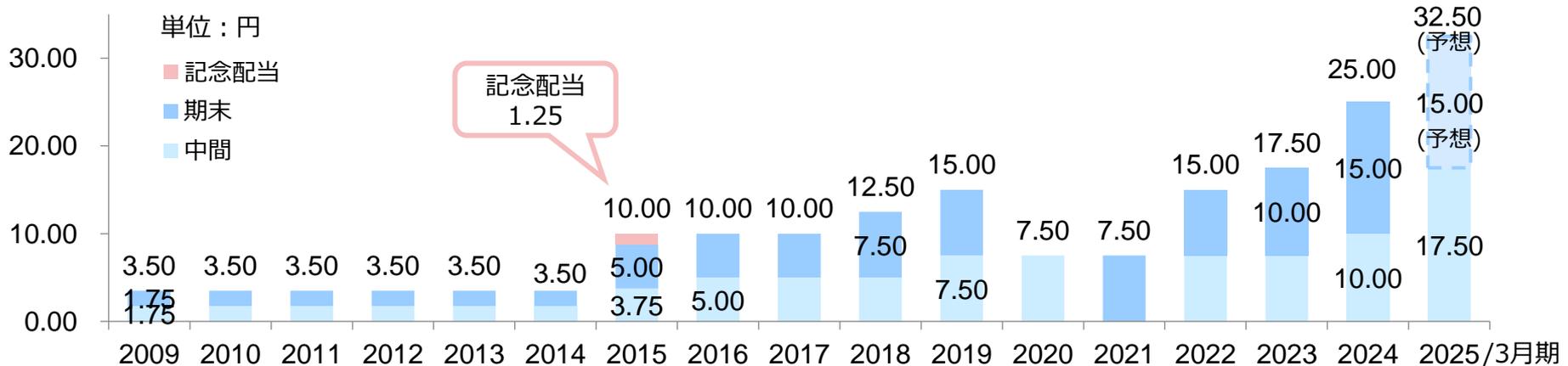
出典 : Yahoo! ファイナンス 2025/2/27

株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2025年3月期 中間：17.5円、 期末(予想)：15.0円

中間連結業績が前回予想を上回り、中間利益として過去最高を更新したことを踏まえ、中間配当を前回予想から2円50銭引き上げ、1株当たり17円50銭に修正



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おさください。